

科目ナンバー： MmC3061

授業コード： 6630300800

講義科目名称： 助産診断・技術学演習Ⅱ（分娩期）

英文科目名称： Practice in Midwifery Diagnosis and SkillsⅡ
(Intrapartum Period)

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
前期	1 学年	2 単位	助産師必修
担当教員			
◎増澤祐子、八巻ちひろ、五十畑麻奈美、塚田文枝、笠井靖代、境原三津夫、上野直美、春日瑠里子、宮下瑠美			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 前期	【授業時間】 60時間		
	【担当教員】			
	【氏名】	【所属】	【研究室】	【メールアドレス】
	◎増澤 祐子	新潟県立看護大学	311	masuzawa@niigata-cn.ac.jp
	八巻 ちひろ	同上	309	cyamaki@niigata-cn.ac.jp
	五十畑 麻奈美	同上	共同研究室2	isohata@niigata-cn.ac.jp
	塚田 文枝	同上	共同研究室2	ftukada@niigata-cn.ac.jp
	笠井 靖代	日本赤十字社医療センター		
	境原 三津夫	桐生大学保健医療学部		
	上野 直美	新潟県立中央病院		
	春日 瑠里子	同上		
	宮下 瑠美	上越総合病院		
	【本学の科目区分】 専門科目			
		【DP1】	【DP2】	【DP3】
	研究			
	CNS			
	助産	◎		○

到達目標	<ol style="list-style-type: none"> 1. 分娩期における助産診断の特徴を説明できる。 2. 分娩期の診断と援助に必要な知識を説明できる。 3. 分娩介助者(直接介助者、間接介助者)の役割を理解し、基本的な介助技術を実施できる。 4. 分娩進行に伴う正常経過逸脱の予測、予防のアセスメントの視点を説明できる。 5. 分娩期の異常や緊急時の対応を説明できる。
------	---

授業概要	産婦(胎児を含めた)の身体的・心理的・社会的特徴および正常経過、分娩期に起こり得る健康問題を理解し、科学的根拠に基づいた助産診断とケア、緊急事態に対応するために必要な知識・技術を修得する。分娩期の助産診断と分娩介助技術を修得する。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義 学修課題：分娩期のフィジカルアセスメント、心理・社会的変化 学修内容：分娩開始の診断、分娩期の経過診断、胎児の健康状態のアセスメント、胎児付属物のアセスメント、産婦の健康状態のアセスメント、産婦の心理・社会的変化、家族の心理・社会的変化 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩のメカニズム】に取り組む(6. 薬剤については除く)。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：八巻</p> <p>2 授業内容 授業形態：講義 学修課題：胎児の健康状態のアセスメントとケア (CTGの判読) 学修内容：CTG判読評価の基本と異常時の対応 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩経過診断】5. 胎児の健康状態の診断に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所について学修を深める。(10分) 備考：五十畑</p> <p>3 授業内容 授業形態：講義 学修課題：分娩期の助産診断・分娩経過の診断・アセスメントとケア① 学修内容：分娩の生理、分娩期の助産診断と診断類型、アセスメントの特徴、助産過程の展開、入院時の診断・アセスメントとケア</p>
------	---

4	<p>事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩経過診断】に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：八巻</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：入院時の診断（初期診断） 学修内容：事例を用いた入院時の産婦に対する初期診断とケア 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩期の助産ケア】に取り組む。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
5	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：入院時の診断（初期診断） 学修内容：事例を用いた入院時の産婦に対する初期診断とケア 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩期の助産ケア】に取り組む。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
6	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：分娩経過の診断・アセスメントとケア② 学修内容：分娩第1期の診断・アセスメントとケア 事前学修：テキストの該当箇所を読み、授業に臨む。「助産学ワークブック III分娩期」の未実施箇所に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：八巻</p>
7	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第1期潜伏期のアセスメント 学修内容：事例を用いた分娩第1期潜伏期の産婦のアセスメント 事前学修：「助産学ワークブック III分娩期」の未実施箇所に取り組む。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
8	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第1期潜伏期の経過診断とケア</p> <p>学修内容：事例を用いた分娩第1期潜伏期の産婦への経過診断に基づいたケア 事前学修：これまでの授業・演習内容の振り返りを行う。(15分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
9	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第1期活動期のアセスメント 学修内容：事例を用いた分娩第1期活動期の産婦のアセスメント 事前学修：これまでの授業・演習内容の振り返りを行う。(15分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
10	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第1期活動期の経過診断とケア 学修内容：事例を用いた分娩第1期活動期の産婦への経過診断に基づいたケア 事前学修：これまでの授業・演習内容の復習を行う。(15分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
11	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：分娩経過の診断・アセスメントとケア③ 学修内容：分娩第2期、第3期の診断・アセスメントとケア、分娩第4期までの診断・アセスメントとケア 事前学修：助産学ワークブック III分娩期の【分娩期の助産ケア】、胎児附属物の観察に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所について学修を深める。(10分) 備考：五十畑</p>
12	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第2期から第4期のアセスメントとケア 学修内容：事例を用いた分娩第1期から第4期の産婦のアセスメントとケア 事前学修：第11回の講義内容の復習を行う。(15分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
13	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩第2期から第4期のシミュレーション 学修内容：事例を用いた分娩第2期から第4期のシミュレーション 事前学修：第12回の演習内容の復習を行う。(15分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
14	<p>授業内容 授業形態：演習</p>

15	<p>学修課題：分娩介助に伴う技術（1） 学修内容：内診、導尿、CTG/胎盤計測、出血 事前学修：学修内容の手技に関して、教科書を用いて予習をする。(20分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p> <p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助に伴う技術（2） 学修内容：内診、導尿、CTG/胎盤計測、出血 事前学修：学修内容の手技に関して、教科書を用いて予習をする。(20分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
16	<p>授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：分娩期の異常①-(1) 学修内容：産科手術および産科的医療処置（分娩誘発・陣痛促進法、帝王切開術） 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩のメカニズム】 6. 薬剤の適用、効果と副作用、禁忌、【分娩時の異常・医療介入】に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：笠井</p>
17	<p>授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：分娩期の異常①-(2) 学修内容：産科手術および産科的医療処置（分娩誘発・陣痛促進法、帝王切開術） 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩のメカニズム】 6. 薬剤の適用、効果と副作用、禁忌、【分娩時の異常・医療介入】に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：笠井</p>
18	<p>授業内容 授業形態：遠隔 学修課題：分娩期の異常② 学修内容：産科的医療処置（無痛分娩） 事前学修：助産学ワークブック III分娩期【分娩のメカニズム】 6. 薬剤の適用、効果と副作用、禁忌、【分娩時の異常・医療介入】に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：境原</p>
19	<p>授業内容 授業形態：講義 学修課題：分娩期の異常①-(3) 学修内容：産科手術および産科的医療処置（分娩誘発・陣痛促進法、帝王切開術における助産） 事前学修：教科書の該当箇所を読む。助産学ワークブック III分娩期【分娩のメカニズム】 6. 薬剤の適用、効果と副作用、禁忌、【分娩時の異常・医療介入】に取り組む。(30分) 事後学修：授業内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：塚田</p>
20	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術デモンストレーション（1） 学修内容：分娩介助の原理原則、分娩介助技術実演、説明 事前学修：分娩介助手順を分娩介助手順書や教科書で確認する。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
21	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術デモンストレーション（2） 学修内容：分娩介助の原理原則、分娩介助技術実演、説明 事前学修：分娩介助手順を分娩介助手順書や教科書で確認する。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
22	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術デモンストレーション（3） 学修内容：分娩介助の原理原則、分娩介助技術実演、説明 事前学修：分娩介助手順を分娩介助手順書や教科書で確認する。(30分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
23	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩時の異常に対するケア① 学修内容：破水の診断・対応 事前学修：教科書の該当箇所を読む。(10分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
24	<p>授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩時の異常に対するケア② 学修内容：胎児心音低下の診断・対応 事前学修：第2回の授業内容の復習を行う。(10分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p>
25	<p>授業内容</p>

	<p>授業形態：演習 学修課題：分娩時の異常に対するケア③ 学修内容：異常出血の診断・対応 事前学修：教科書の該当箇所を読む。(10分) 事後学修：演習内での疑問箇所や理解が曖昧な箇所の調べ学修を行う。(10分) 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田</p> <p>26 授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術評価(OSCE) (1) 学修内容：分娩介助技術チェック 事前学修：分娩介助技術評価に向けて基本的な分娩介助技術を練習する。 事後学修：分娩介助技術評価を通して明確になった自己課題に対し学修する。 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田、上野、春日、宮下</p> <p>27 授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術評価(OSCE) (2) 学修内容：分娩介助技術チェック 事前学修：分娩介助技術評価に向けて基本的な分娩介助技術を練習する。 事後学修：分娩介助技術評価を通して明確になった自己課題に対し学修する。 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田、上野、春日、宮下</p> <p>28 授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術評価(OSCE) (3) 学修内容：分娩介助技術チェック 事前学修：分娩介助技術評価に向けて基本的な分娩介助技術を練習する。 事後学修：分娩介助技術評価を通して明確になった自己課題に対し学修する。 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田、上野、春日、宮下</p> <p>29 授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術評価(OSCE) (4) 学修内容：分娩介助技術チェック 事前学修：分娩介助技術評価に向けて基本的な分娩介助技術を練習する。 事後学修：分娩介助技術評価を通して明確になった自己課題に対し学修する。 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田、上野、春日、宮下</p> <p>30 授業内容 授業形態：演習 学修課題：分娩介助技術評価(OSCE) (5) 学修内容：分娩介助技術チェック 事前学修：分娩介助技術評価に向けて基本的な分娩介助技術を練習する。 事後学修：分娩介助技術評価を通して明確になった自己課題に対し学修する。 備考：増澤、八巻、五十畑、塚田、上野、春日、宮下</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標1、2、4、5に対して、筆記試験60%で評価する。 到達目標1～5に対して、分娩介助技術評価OSCE40%で評価する。
テキスト	指定しないが、参考図書より必要なテキストを準備すること。
参考図書・資料等	<p>我部山キヨ子, 他編(2026): 助産学講座7 助産診断・技術学Ⅱ [2] 分娩期・産褥期, 第6版, 医学書院. 佐々木くみ子, 他編(2025): 助産師基礎教育テキスト第5巻 分娩期の診断とケア, 日本看護協会出版会. 北川真理子, 他編(2019): 今日の助産 (改訂第4版) - マタニティサイクルの助産診断・実践過程, 南江堂. 日本産婦人科学会/日本産婦人科医会 (2023), 産婦人科診療ガイドライン 産科編-2023. 中井章人(2016): 図説CTGテキスト助産実践能力習熟段階レベルⅢ認証必須研修CTG対応テキスト, MEDICAL VIEW. 石村由利子(2020): 根拠と事故予防からみた母性看護技術, 第3版, 医学書院. 小林康江, 他編(2026): 助産師基礎教育テキスト第7巻 ハイリスク妊産褥婦・新生児へのケア, 日本看護協会出版会. 荒木勉(2023): 最新産科学(正常編) 第23版, 文光堂. 荒木勉(2023): 最新産科学(異常編) 第23版, 文光堂. 医療情報科学研究所(2018): 病気がみえるVol.10産科 第4版, MEDIC MEDIA. 我部山キヨ子, 他編(2018): アセスメント力を磨く助産師のためのフィジカルイグザミネーション, 医学書院.</p>
受講、課題、資料配布等のルール	<p>課題を提示するので、事前に学修をして授業に臨むこと。 授業には積極的に参加し、主体的に学修する姿勢で臨むこと。 学生が演習室の使用および準備から終了まで主体的に運用すること。 ※講義資料はどこカレに掲示する。</p>
教員からのメッセージ	<p>本科目は助産学実習の前提科目であることを意識して授業に臨むこと。 分娩技術評価試験(OSCE)は助産学実習履修のための前提条件となるため、日々自己演習に励むこと。</p>
オフィスアワー	在室時、可能な限り対応する。事前の連絡が望ましい。